

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院 消化器内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

2010年1月1日 ～ 2021年12月31日の間に、早期胃癌のために虎の門病院消化器内科に入院・通院し、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）を受けられた方

【研究課題名】

胃癌異時性多発のリスク因子に関する研究

【研究の目的・背景】

Helicobacter pylori (Hp) 感染は胃癌の最大のリスク因子であるが、Hp 除菌療法により胃癌の発症リスクを減らすことができると証明されている。しかし、Hp 除菌後や未感染の場合であっても胃癌を発症する症例が報告されており、胃癌に対して内視鏡もしくは外科的切除を行うことで根治が得られた場合であっても、胃の別の場所に異時性多発をきたすことも知られている。このような現状において、異時性多発胃癌に対するサーベイランス・治療・予防戦略が求められている。本研究では、胃癌に対して内視鏡的切除を行った症例のリスク因子を調査し、異時性多発との関連性について検討を行うことを目的とする。

【研究期間】

2025年10月24日 ～ 2028年3月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院において研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：検査データ、診療記録、心電図、CT・MRI 画像データ、薬歴、看護記録など

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：虎の門病院 ・ 布袋屋 修

研究機関の長：院長 門脇 孝

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2026年1月31日 までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様の不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 消化器内科 ・ 河合 優佑

電話 03-3588-1111(代表)